

# 三池の火がこころにも...

私は仲間の大石さんと二人、オオルグとして、四国二県(愛媛と香川両県)をまわり、とくにあの人間愛あふれる作家——壺井栄の、二十四の瞳の舞台となった小豆島で交流した労働者皆さん、朝でした。

たのは、一月五日(土曜日)の早土庄町(吉ヶ浦)より、開口一番「三池の皆様には、昨年十七号台風で大変お世話になりました」とのことでした。三池主催会が取り組んだ、被災地への救援物資カンパに対するお礼だったのです。

単組をまわる途中、ガケ崩れのなまなましい跡が見られました。中でも、島の南側の池田港あたりが家ごと埋まっている所があり、東の海岸ではまだ道路が復旧してない、とのことでした。山の木を切り過ぎたことが、あの被害の原因のようでした。

この島を走る小豆島自動車(俗称は島バス)が、労働者に対する資本と国家権力の組織攻撃・弾圧に対する皆さんの闘いを聞き、私たちがあせんとするとともに、闘い抜いた香川県、島地区、小豆島住民の皆さんに、心からの祝福をおくりたい気持ちでした。

島バス資本の労働管理はひどく

## 団体交渉に警察がきた

組合は会社と警察に抗議



「百人の職員に住所は一つ、小豆島の労働者労働組合」

「組合は会社と警察に抗議」

「島バス」が、労働者に対する資本と国家権力の組織攻撃・弾圧に対する皆さんの闘いを聞き、私たちがあせんとするとともに、闘い抜いた香川県、島地区、小豆島住民の皆さんに、心からの祝福をおくりたい気持ちでした。

島バス資本の労働管理はひどく

## 忘れ得ぬ小豆島の仲間

闘争勝利の日抱き合って泣いたという

森 光 広 港務指導部

「昨年九月二十八日、また高松陸運局からも三項目の改善勧告を受けているはずだ。」

島バス労働者は私鉄総連の指導の下で職場総点検に入っていくと、これまでの交渉で何度も強く要求したにもかかわらず、修理もせずバスを走らせ、そのため道路上でバス故障を何件も起こしてしま

タクシー部門の分離を強行するために、職制が組合員に暴力をふるい、勤務中の組合員にきた兄弟の死を知らせる電報を三時間も放置したり、寝ぼけまわらぬだけで風は吹きこみ、雨も降り始める始末。

島バス労働者は昭和五十年十一月の秋季闘争の時期から同文、職場要求を積み重ねていきました。その闘いの中では、会社は不当弾圧事件さえ引き起こしています。その理由は「組合員五十名が職制を取りかかみ、大声でのしつたり押し倒した」ということでした。

## 身を守る決意を

### 続くじん肺発生の危険

「われわれ、それ掘れ」と、出炭ばかりが目くらんだ三池炭鉱の各ヤマの坑底では、依然としてじん肺発生の危険が漂っています。

高松指導部四方分新聞によれば、(NO.11)は、「ふんじんから身を守る」として次のように呼びかけています。

「これまでは、けい肺は掘進工とまわっていたが、私たちが出るのではないだろうか。」

粉じんをなくすために、会社に言いつくすのは言いがかり、また自分で出来るマスクの着用などを励行して、ほんとうに、わが身は自分で守るんだという決意が必要ではないでしょうか。」

報告は簡単であるが、うちにも問題は重大だ。

## 「この任務に誇りを」

### 職場新聞実務者会議が決意

その後三池炭鉱の各職場が発行する職場新聞は、日毎に内容を充実させながら着実に前進している。この活動をいっそう充実・発展させるために、三池労働組合のほかに、職場新聞編集実務者会議は、「今後は各新聞とも編集体制を確立・専門化」するなどの、今後の活動方針を確立して開議した。

職場新聞編集実務者会議は、十通本地区本部から担当者の久留二(十三日)の二泊二日の日程で開議活動の実際ととも、組合運動のなかで果たしている課題について、日刊紙・職場新聞は「教え」であるという「伝える」ということでも、組合員みなさんへ向けての真剣な討論だった。

今回は特に、日刊紙活動がものすごく発展の姿を見せている、全久留執行委員は語った。

## 今後の活動方向は

「全通労働組合の活動を、反合理化闘争そのものとして位置づけながら、全国的にとりくんでいく。日刊紙・職場新聞は「教え」であるという「伝える」ということでも、組合員みなさんへ向けての真剣な討論だった。

今回は特に、日刊紙活動がものすごく発展の姿を見せている、全久留執行委員は語った。

## ふれだいいい

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)



「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)

「この活動こそ誇りをもち、足もとから問題を拾い上げ、努力してゆけ。」(座長・石田益)